

授業概要

この授業はテキストを使用し、テキストに沿って経済学の歴史を学ぶ授業です。経済学は比較的新しい学問体系ですが、その源泉は西洋の哲学や歴史の影響を受けており、日本においても明治の近代化の時期に西洋の知識の導入として受容されてきました。また経済学は資本主義経済の成立とともに、国によって、時代によって特徴ある様々な理論が形成されました。この授業では主要な経済学の学説(理論)が現代の経済学とどのような関係にあるのかに注目しながら経済学の理論や思想の基礎を学びます。

授業計画

第 1 回	経済学の歴史を学ぶ意義(ガイダンス)
第 2 回	経済学誕生以前
第 3 回	前期重商主義の経済思想
第 4 回	後期重商主義の経済学
第 5 回	重農主義の経済学
第 6 回	市場社会論の系譜
第 7 回	古典派経済学の成立
第 8 回	古典派経済学の展開
第 9 回	授業内中間試験(確認テスト)
第 10 回	歴史学派の経済学
第 11 回	マルクス経済学の方法
第 12 回	マルクス経済学『資本論』
第 13 回	現代の経済学—限界効用理論
第 14 回	現代の経済学—ケインズ経済学
第 15 回	まとめ・補填・総復習
第 16 回	定期試験

到達目標

- ① 主要な経済学者の学説の基本を理解できる。
- ② 経済学の歴史を通史的に理解できる。
- ③ 現代の経済学や経済政策がどのような背景からなる経済学によって基礎づけられていて、目的は何かを理解できる。

履修上の注意

途中で理解度を確認するために確認テスト(授業内中間試験)を実施する。

予習・復習

毎回ほぼテキストの 1 章ごとに進むので、各自の予習復習はテキストを読み理解を深めること。

評価方法

中間試験 40% 定期試験 50% 平常点 10%

テキスト

- ・教科書名：『経済学史への招待』
- ・著者名：柳沢哲哉
- ・出版社名：社会評論社 2017
- ・出版年 (ISBN)：978-4784518432